

## 令和 6 年度第 1 回文化施設のあり方検討部会会議録

|                                             |                                                                                                                  |                                                       |
|---------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 開催日時                                        | 令和 6 年 4 月 19 日（金）      午前 10 時 00 分から 12 時 00 分まで                                                               |                                                       |
| 開催場所                                        | 奈良市役所   北棟 4 階   402 会議室                                                                                         |                                                       |
| 議題                                          | 1    開会<br>2    部会長挨拶<br>3    議事<br><br>（1） 文化施設のあり方検討部会運営要領について<br>（2） あり方検討のスケジュールについて<br>（3） 奈良市音声館の現状と課題について |                                                       |
| 出席者                                         | 委    員                                                                                                           | 萩原部会長、上田部会員、風間部会員                                     |
|                                             | 事務局                                                                                                              | 谷田市民部長、池田市民部次長、森文化振興課長、荒益課長補佐、吉川課長補佐、徳山総務係長、奥村振興係長、太田 |
|                                             | その他                                                                                                              | 一般財団法人   奈良市総合財団    職員 3 人                            |
| 開催形態                                        | 公開（傍聴人   1 人）                                                                                                    |                                                       |
| 決定事項                                        | ・ 文化施設のあり方検討部会運営要領の承認                                                                                            |                                                       |
| 議事の概要                                       |                                                                                                                  |                                                       |
| 3    議事                                     |                                                                                                                  |                                                       |
| （1） 文化施設のあり方検討部会運営要領について                    |                                                                                                                  |                                                       |
| ・    運営要領案について承認                            |                                                                                                                  |                                                       |
| （2） あり方検討のスケジュールについて                        |                                                                                                                  |                                                       |
| 【議事説明】                                      |                                                                                                                  |                                                       |
| ・    「体制」「分析」「検討」「成果」について説明                 |                                                                                                                  |                                                       |
| ・    「体制」は本部会とワーキングチーム                      |                                                                                                                  |                                                       |
| ・    「分析」は「音声館の現状と課題」を明確にするとともに、市民ニーズの把握を行う |                                                                                                                  |                                                       |
| ・    「検討」は具体的な解決方策を検討                       |                                                                                                                  |                                                       |
| ・    「成果」として新たな実施計画（案）を作成する                 |                                                                                                                  |                                                       |
| （3） 奈良市音声館の現状と課題について                        |                                                                                                                  |                                                       |
| 【議事説明】                                      |                                                                                                                  |                                                       |
| ・    資料 7 に基づき、音声館の現状と課題を説明                 |                                                                                                                  |                                                       |
| ・    課題①    施設における事業効果と運営コストのバランス           |                                                                                                                  |                                                       |
| 課題②    社会環境の変化（少子化等）により、従来通りの事業に対するニーズが     |                                                                                                                  |                                                       |

減少している

課題③将来的な施設や設備の維持コスト増加

以上の3つの課題認識について説明

【委員意見】

- ・ 指定管理者選定においても、奈良市総合財団に、これまで築いてきた人的なネットワークを含め、経済的価値に置き換えられない資源があることは間違いがなかった。しかし、現状を乗り越えていくような部分の提案が感じ取れなかったということが、委員たちの共通理解であったように思う。
- ・ 人口減少していくなかで、子育てが充実してもらいたいということが、住民の意向であり、市の意向であると考えた時、音声館が持っている特徴を活かし、アウトリーチを展開するなどが考えられる。コーディネーターがいて、アーティストを派遣するなど、ネットワークを形成していくようなことも仕事として考えられる。
- ・ 音声館のエントランスなど、もう少し触れ合いの空間としての活用をしてみてもどうか。最近、対話のサークルなど、ニーズを感じている。奈良市アートプロジェクトの取り組みをしても、交流のなかで子育ての悩みなどを話される方がおられた。「わらべ」という切り口であれば、子育て中の方など、大人を対象とした事業展開も考えられる。
- ・ 少子化が進む中、わらべうたのアーカイブ化を進めていき、これまでの活動を振り返って整理するフェーズに入る時期にきているのかもしれない。例えば、昔、館に来ておられた方にヒアリングを行い、まちの声をアーカイブしていく形にすれば、わらべうたの活動に大人の人も関わる場所になるのではないかな。
- ・ ならまちという場所に多くの観光客、そして生活している人がいる。そこに交流が生まれるような、「体験型交流拠点」のようなものは、先進的な事例として作れるのではないかな。
- ・ 訪日外国人についていえば、平日に奈良へ行かれることが多いと感じる。「奈良に行くならここに行かないと」といったルートのなかに、音声館のイベントも入れていければいい。
- ・ ビジネスに使えるそうだと思うもらえる部分、例えば伝統的な日本の楽器に触ることができるなどを検討できないかな。
- ・ 直島は現代アートで有名になり海外の人も多く訪れており、説明のボランティアさんは別に英語が得意なわけではないが、そこは障害にはならない。訪日外国人は、日本の人たちと触れ合いいたいという気持ちがあり、言語は必ずしも必要なものでは

ない。

- ・収益事業の実施を考えた場合、条例改正の必要もあるかもしれないが、稼ぐ部分というのは、文化事業のコンテンツという部分とは違う方向で考える方がいいかもしれない。例えば、観光業に長けた企業と連携するなど。
- ・課題を解決するにはラディカルに別のものを持ち込むなどをしないと、一気に解決しないかもしれない。
- ・音声館が開館した当時は、全国津々浦々で公立文化施設が建てられており、現在、その多くが老朽化を迎えて、存廃も含めて議論されている状況。音声館の議論が可視化されることで他の自治体の参考にもなる。今後、シンポジウムなどの場で、似た課題を抱えた自治体や施設の担当者から話を聞くなども考えられる。
- ・本会議で、音声館の運営に長年携わってきた総合財団の職員から話を聞くことができ、音声館の状況の理解が深まった。今後も、これまでの運営状況について情報提供をいただきたい。
- ・文化がなじむかはさておき、経営者や起業家など、経営センスがある人を呼んで話を聞いてみるのもありうる。
- ・奈良市が有する他の施設との面的な側面、すべての施設をマップに落とし込むことで、パフォーミングアーツ系の利用者の視点に立ち、使える場所を把握できるようにしてほしい。
- ・パフォーミングアーツはお金がかかるなかで、その機能を本当に維持していくのか、維持していくのであれば、どうやって収益をあげる仕組みをここに持たせるのかということは精査していきたい。
- ・利用する人を育てていく観点は必要。団体・個人に関わらず、音声館がひとつの拠点として使えるぞと思ってもらえるように、育てていく。
- ・コーディネーターないし、つなぐ役目の人が大切。箱の維持ばかりではなく、長期的な視点で裾野を広げていく必要があり、そのための土壌をつくっていく。
- ・東京アートポイントでは、長期的な視点で拠点を育てていった。夢見る部分もあるが、総合財団の協力を得つつ、希望を持てるように検討を進めていきたい。
- ・拠点施設というのは検討のための一つの視点となる。伝統文化や音楽、パフォーマンスに関するセミプロの人たちの拠点となり、インキュベーション的な施設とし

て、部屋を使ってもらうとかの取組みも考えらえる。

- ・ 近隣の中学校や高校、大学などとの連携、また教育機関に限らずフリースクールとの連携とか、そういったところに社会的なニーズがあるかもしれない。
- ・ 来館者を劇的に増やすということは急には難しく、例えば 40%の稼働率を 60%にあげていくとかが、現実的な目標になるかと思う。